

<<金文的世界——殷周社会史>>

图书基本信息

书名：<<金文的世界——殷周社会史>>

13位ISBN编号：9789570800449

10位ISBN编号：9570800445

出版时间：1989

出版公司：联经出版事业公司

作者：白川静

译者：温天河,蔡哲茂

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问：<http://www.tushu007.com>

<<金文的世界——殷周社会史>>

作者简介

白川静博士著作目录

立命馆大学文学部中国文学专业

单行本

著書

- 『甲骨金文学論叢初集』 积史・积文 立命館大学中国文学研究室 1955-3
- 『同二集』 作冊考・召方考・金文索引1 官制 1955-5
- 『同三集』 积師・金文索引2 人名 1955-8
- 『同四集』 琯生銘文考积・載書關係字說 1956-12
- 『同五集』 殷代雄族考1・金文索引3 地名 1957-12
- 『同六集』 殷代雄族考2・3 1957-12
- 『同七集』 殷代雄族考4・5 (媚壘關係字說) 1958-5
- 『同八集』 殷代雄族考6・7 (臯辜關係字說) 1958-8
- 『同九集』 羌族考 1958-12
- 『同一〇集』 安州六器通积・积南・蔑曆解 1962-6
- 『稿本詩經研究』 (通論篇) 立命館大学中国文学研究室 1960-6
- 『同』 (解釈篇) 1960-6
- 『同』 別冊 (『興の研究』) 1960-10
- 『金文通积一輯』 伝武王期銅器 白鶴美術館 1962-8
- 『同二輯』 大保關係諸器 1962-11
- 『同三輯』 周公伯禽關係諸器 1963-3
- 『同四輯』 康侯關係諸器 1963-6
- 『同五輯』 王・王姜關係諸器 1963-10
- 『同六輯』 令・明保關係諸器 1964-4
- 『同七輯』 三都關係諸器 1964-7
- 『同八輯』 邶・鄘・衛・召公關係諸器 1964-11
- 『同九輯』 休王・諸侯伯諸器 1965-3
- 『同一〇輯』 康王期新出諸器 1965-6
- 『同一一輯』 麦諸器 1965-10
- 『同一二輯』 孟諸器 1965-12
- 『同一七輯』 伯辟父・師雍父諸器 1967-3
- 『同一八輯』 大室諸器・昭王諸器 1967-6
- 『同一九輯』 師遽・并伯諸器 1967-9
- 『同二〇輯』 并伯諸器・方座 諸器 1967-12
- 『同二一輯』 免・司馬并伯諸器 1968-3
- 『同二二輯』 懿王諸器 1968-6
- 『同二三輯』 懿孝諸器 1968-9
- 『同二四輯』 頌•散諸器 1968-12
- 『同二五輯、二六輯』 夷諸器1,2 1969-3,6
- 『同二七輯』 十月之交關係諸器 1969-9
- 『同二八輯』 克氏諸器 1969-12
- 『同二九輯』 厲王諸器 1970-3
- 『同三〇輯、三一輯』 共和諸器1,2 1970-6,9
- 『同三二輯』 宣王諸器 1970-12
- 『同三三輯』 宣幽諸器 1971-3
- 『同三四輯、三五輯、三六輯』 西北諸器1,2,3 1971-6,9,12

<<金文的世界——殷周社会史>>

- 『同三七輯』中土諸器 1972-6
 『同三八輯、三九輯』東土諸器 1972-9, 1973-4
 『同四〇輯』南土諸器 1973-6
 『同四一輯、四二輯、四三輯、四四輯、四五輯』通論篇1, 2, 3, 4, 5 1974-6, 7 / 1975-2, 3, 4
 『同四六輯、四七輯』西周史略1, 2 1977-4, 10
 『同四八輯、四九輯、五〇輯』補記篇1, 2, 3 1978-9, 12 / 1979-5
 『同五一輯、五二輯』補記篇1, 2 1979-12, 1980-3
 『同五三輯、五四輯』本文篇(上)(下) 1981-3, 1982-2
 『同五五輯、五六輯』索引篇1, 2 1983-3, 1984-3
 『殷•甲骨文集』(書迹名品叢刊3集) 二玄社 1963-8
 『金文集1殷周』(書迹名品叢刊3集) 二玄社 1964-2
 『金文集2西周後期』(書迹名品叢刊3集) 二玄社 1964-2
 『金文集3西周後期』(書迹名品叢刊3集) 二玄社 1964-5
 『金文集4列国』(書迹名品叢刊3集) 二玄社 1964-6
 『説文新義』卷一~卷一五、別卷 五典書院 1969-7~1974-6
 『漢字 生い立ちとその背景』岩波新書 1970-4
 『詩經 中国の古代歌謡』中公新書 1970-6
 『金文の世界 殷周社会史』平凡社(東洋文庫) 1971-4
 『甲骨文の世界 古代殷王朝の構造』平凡社(東洋文庫) 1972-2
 『孔子伝』中公叢書 1972-11(1992-2、中公文庫)(所収:「孔子の生涯」1971-10、「儒の起源」1972-1)
 『甲骨金文学論集』(『甲骨金文学論叢』の一部複印) 朋友書店 1973-12(釈史・釈文・作冊考・召方考・釈師・戴書關係字説・殷代雄族考・媚蠱關係字説・臯辜關係字説・先族考)
 『中国の神話』中央公論社 1975-9(1980-2、中公文庫)
 『漢字の世界 中国文化の原点1、2』平凡社(東洋文庫) 1976-1, 3
 『中国の古代文学1 神話から楚辞へ』中央公論社 1976-4(1980-8、中公文庫)
 『中国の古代文学2 史記から陶淵明へ』中央公論社 1976-11(1981-1、中公文庫)
 『漢字百話』(中公新書) 1978-4
 『初期万葉論』中央公論社 1979-4
 『中国古代の文化』(講談社学術文庫) 1979-10
 『中国古代の民俗』(講談社学術文庫) 1980-5
 『詩經研究』通論篇(朋友学術叢書) 朋友書店 1981-10
 『字統』平凡社 1984-8
 『文字逍遥』平凡社 1987-4
 『字訓』平凡社 1987-5
 『文字遊心』平凡社 1990-4
 『詩經国風』平凡社(東洋文庫) 1990-5
 『後期万葉論』中央公論社 1995-3
 『字通』平凡社 1996-10
 『詩經雅頌』1、2 平凡社(東洋文庫) 1998-6, 7
 『白川静著作集』全12巻 平凡社 1999~2000
 『白川静著作集』全40巻 平凡社 2002より刊行中
 『回思九十年』平凡社 2000-4
 『字書を作る』平凡社 2002-1
 『文字講話』平凡社 2002-9
 『文字講話』平凡社 2003-2
 『文字講話』平凡社 2003-12

<<金文的世界——殷周社会史>>

- 『桂東雜記』 平凡社 2003-6
 『桂東雜記』 平凡社 2004-4
 『常用字解』 平凡社 2003-12
- 華訳
 『詩經研究』 杜正勝訳 (『詩經』1972-2の訳) 幼獅月刊叢書 1974-9
 『甲骨文的世界』 (蔡哲茂他訳) 巨流図書公司 (『甲骨文の世界』1972-2の訳) 1977-9
 『中国古代文化』 加地伸行・范月嬌共訳 文津出版社 1983-5
- 共著
 『書道全集』 第一卷 中国1殷・周・秦 (担当: 図版解説、釈文一, 二, 四, 七) 1954-9
 『古代殷帝国』 (第四章ト辞の世界) みすず書房 1957-12
 『中国の美術』 2 書蹟 中田勇次郎編 淡交社 1982-5
 『東方学 回想8』 (「学問の思い出 - 白川静博士を囲んで - 」)
 東方学会編 刀水社 2000-10
 『自分と出会う75章』 (「私は真幻の間にいる」)
 朝日新聞「こころ」のページ編 朝日新聞社 2001-4
 『知の愉しみ 知の力』 (渡辺昇一氏との対談) 致知出版社 2001-10
- 編著
 『高等漢文』 (教科書) 三冊 別記二巻 1953
 監修 白鶴英華『白鶴美術館名品図録』 白鶴美術館 1978-3
 監修『漢字類編』 小林博編 木耳社 1982-11
- その他
 別冊太陽 『白川静の世界 漢字のものがたり』 平凡社 2001-12
 別冊太陽 『呪の思想 神と人との間 白川静 + 梅原猛対談』 平凡社 2002-9
 「京都の支那学と私」 『學林』 第33號 2001-3
 「読書の思い出」 『學林』 第34號 2002-1
 「『學林』二十年に寄せる」 『學林』 第38號 2003-12
- 論考
 1940年代
 ト辞の本質「立命館文学」62 1948-1
 訓詁における思惟の形式について「立命館文学」六四 1948-3
 殷の社会「立命館文学」66 1948-9
 「詩」の興について「説林」一 1949-4
 商頌五篇について「説林」三 1949-6
 殷の神話「説林」四 1949-7
 殷の世系 いわゆる六示について「説林」五 1949-8
 ト辞関係文献年表(一)(二)「説林」六、七 1949-9, 10
 帝の觀念「立命館文学」70•71•72 1949-10
- 1950年代
 殷の族形態 いわゆる亜字形款識について「説林」II(一) 1950-1
 ト辞関係文献年表(三)「説林」II(三) 1950-3
 衣衾考「説林」II(四) 1950-4
 詩經学の成立(一)~(六)「説林」II(九)~(一二)、III(一)(二) 1950-9~1951-2
 殷の基礎社会「立命館文学」立命館創立五〇周年記念論文集 文学篇 1951-2
 大学原始「説林」III(七) 1951-7
 尚書洛誥解「説林」III(八) 1951-8
 尚書大誥篇について「説林」III(九) 1951-9
 周初の対殷政策と殷の余裔 特に召公の問題を中心として(上)「立命館文学」79 1951-9

<<金文的世界——殷周社会史>>

- 令彝について 周公子明保と康宮「説林」Ⅲ(一二) 1951-12
 周初における殷人の活動 主として軍事関係の考察「古代学」Ⅰ(一) 1952-1
 周初の対殷政策と殷の余裔 特に召公の問題を中心として(下)「立命館文学」82 1952-3
 西周期における東南地域の政治と文学 周南・召南とその背景「立命館文学」96 1953-5
 胡厚宣氏の商史研究 甲骨学商史論叢(上)(下)「立命館文学」102、103 1953-11, 12
 殷代の殉葬と奴隸制「立命館大学人文科学研究紀要」二 1954-1
 殷の王族と政治の形態「古代学」Ⅲ(一) 1954-3
 屈原の立場(上)(下)「立命館文学」109、110 1954-6, 7
 积南 殷と南方文化、その1「甲骨学」三 1954-10
 小臣考 殷代奴隸制社会説の一問題(上)(下)「立命館文学」116、117 1955-1, 2
 楚辞叢説(上)(下)「立命館文学」120、121 1955-5, 6
 蔑曆解「甲骨学」四五 1956-10
 詩経に見える農事詩(上)(下)「立命館文学」138、139 1956-11, 12
 文字と古代文化(1)(2)「古代文化」Ⅰ(三)(四) 1957-10, 12
 楚辞天問小箋「立命館文学」150・151 1957-11~12
 文字と古代文化(3)~(10)「古代文化」Ⅰ(五)、Ⅱ(一)、(四)、(六)、(八)、(九)、
 (一一)、(一二) 1957-12~1958-12
 古代中国の共同体「古代学」講座 共同体の研究(上)(古代学協会編)理想社 1958-12
 羌鍾銘文考釈(上)(下)「立命館文学」164、165 1959-1, 2
 1960年代
 周頌の成立「立命館文学」180 1960-6
 詩経蠡説『慶祝董作賓先生六十五歳論文集』上冊(中央研究院歴史語言研究所集刊外篇)
 1960-7
 詩経『世界の歴史3 東アジア文明の形成』筑摩書房編集部編 筑摩書房 1960-11
 興的発想の起源とその展開(上)(下)「立命館文学」187、188 1961-1, 2
 甲骨文よりみた殷代社会「歴史教育」九(四) 1961-4
 甲骨文の解読(古代史講座第1 古代史学序説)学生社 1961-10
 大豊の時代「立命館文学」200 1962-2
 金文臚義(1)(2)「立命館文学」201、204 1962-3, 6
 西周彝器断代小記『紀念董作賓・董阿蘇両先生論文集』上冊(中央研究院歴史語言研究所集刊三六
) 1965-12
 西周後期の金文と詩篇「立命館文学」264 1967-6
 漢字とカナ『日本と東洋文化』新潮社 1969-7
 資料としての西周金文「歴史教育」一八(七) 1969-9
 文字学の方法「文学」三八(九)岩波書店 1969-9
 1970年代
 万葉集と中国思想『万葉集講座』二卷 有精堂 1973-5
 古代歌謡の世界 「詩経」と「万葉集」『講座比較文学』第一卷 東京大学出版会 1973-6
 漢字と文化「アジア文化」一一(二) 1974-2
 金文学前史(上)(下)「立命館文学」346・347、348・349 1974-5, 7
 金文学の方法(上)(中)(下)「立命館文学」355~357、358・359、360・361 1975-3, 5, 7
 神話と経典『中国哲学史の展望と模索 木村英一博士頌寿記念論集』創文社 1976-11
 西周史の諸問題(上)(下)「立命館文学」377・378、382・383 1976-12/1977-5
 古代文字と生命の思想「日本経絡学会誌」三五 1977-12
 詩経『新訂版 世界の歴史第三 東アジアの文明の形成』筑摩書房 1978-3
 新出青銅器銘文考釈(上)(中)(下)「立命館文学」394・395、396・397、398・399 1978-5, 7, 9
 1980年代

<<金文的世界——殷周社会史>>

- 两周青銅器积文(上)(中)「立命館文学」412~414、415~417 1979-12 / 1980-2
淮戎と氏諸器「立命館文学」418~421 1980-6
两周青銅器积文(下)「立命館文学」422・423 1980-9
呂刑系統書篇について『池田未利博士古稀記念 東洋学論文集』柳盛社 1980-9
再論蔑曆『記念李濟屈万里両先生論文集』(中央研究院歴史語言研究所集刊五一 1980-10
周公『人物 中国の歴史』一 集英社 1981-9
金文図象の体系『中田勇次郎先生頌寿記念論集東洋芸林論叢』平凡社 1985-5
古代文字学之方法 台湾中央研究院 1986-10
1990年代
西周断代和年曆譜『武王克殷之年研究』北京師範大学国学研究所 1997-11
華訳
對於訓詁的思惟形式(徐復觀訳)「民主評論」9(7) («訓話における思惟の形式について」1948-3の訳) 1958-4
懷念董作賓教授(梁英茂訳) («董作賓教授を懷う」1964-10の訳)「中国文字」一八 1965-12
作冊考(鄭清茂訳) (甲骨金文学論叢二 1955-5の訳)「中国文学」三九、四〇 1971-3
金文学史1 許礼平訳 中国語文研究(香港)第三期 1981
淮夷与氏諸器・月令的形式・採桑女(上二篇、『中国古代の民俗』所収)范月嬌訳『日本漢字論文集』一 文史哲出版社(台湾) 1985-

<<金文的世界——殷周社会史>>

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:<http://www.tushu007.com>